

単元名 読んで感想をもち、つたえ合おう

配当時間 7時間

単元の目標 (1) 指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、それを伝え合うことで一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
 (3) 一人一人の感じ方の違いに着目し、科学読み物を読んだ感想を伝え合おうとする。

標準的な展開例

03010304_001

【教材名】 ありの行列 (下 P. 95～P. 104)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ありやありの行列について話し合い、学習の計画を立てる。 ★ありの行列についての研究が書かれた文章を読んで感想をもち、伝え合おう。 ○教科書(P.95)の扉を読み、ありやありの行列について知っていることを発表する。 ○通読して、学習課題を設定し、学習目標を立てる。</p> <p>2～5 「ありの行列」を読んで、説明的文章の内容や構成を理解する。 ★段落のつながりに気を付けて「ありの行列」を読もう。 ○段落に番号を付け、「はじめ」「中」「終わり」の三つの部分に分ける。 ○「問い」「答え」がどの段落にどのように書かれているかを探す。 ○段落ごとに内容を確認する。 ○指示語や接続語の役割について理解し、「問い」から「答え」までの論の進め方を確認する。</p> <p>○ウィルソンの研究の進め方、ありが行列を作る仕組みについて書かれていることを要約する。 ○文末などに着目して、「調べたこと」と「考えたこと」を読み分ける。</p> <p>6 「ありの行列」の感想を書く。 ★「ありの行列」の感想を書こう。 ○「ありの行列」を読んで思ったこと、考えたことを文章に書く。</p> <p>7 「ありの行列」の感想を交流する。 ★「ありの行列」の感想を伝え合おう。 ○友達と読み合い、感想を交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・二次元コードを読み込み、動画「ありの行列ができる様子」を視聴させるとよい。</p> <p>・教科書(P.8)「いつも気をつけよう・読む」を使って確認させる。 【評】段落や文章全体の構成を理解し、「答え」に至る過程や根拠を読み取る活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・文章中に使われる指示語の内容を明らかにし接続語に着目して段落相互の関係を捉えさせる。 ・教科書(P.102)「つながりを考えるとき」を参照させる。 【評】文章中に使われている接続語の働きや指示語の内容を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教科書(P.102)「短くまとめるために」を参照させるとよい。 ・「～ました。」で終わる文と、「～です。」「～ます。」で終わる文の内容の違いに気付かせる。</p> <p>・「ありの行列」と教科書(P.101)「もっと読もう」から引きつけられたことや、もっと知りたいと思ったこと、考えたことなどを書かせる。 ・教科書(P.103)「感想のれい」を参照させる</p> <p>【評】思ったことや考えたことを文章に書く活動を通して、文章に基づいて感想や考えをもつ「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書(P.104)「たいせつ」を確認させる。 ・自分と似ているところや違うところ、工夫している表現などについて話し合わせる。 【評】文章を読み合って感想を交流する活動を通して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く「思考・判断・表現」を評価する。 【評】感想を伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書(P.103)「ふりかえろう」を基に、どのような言葉に着目したか、友達の感想を読むとどんな発見があったかなどを振り返らせる。</p>

【 備 考 】